

元学生の「15の私へ」の手紙

当 HP 記事「あなたは、15の自分に何をどう伝えますか？」を目にしてくださった方から、早速、感想をいただきました。

その中に、ある元学生がご自身の「15の私へ」の手紙の配達を私に託してくれました。

【 「15の私へ」

拝啓、元気で中学校へ通っているのでしょうか？

きっと今手紙を書いている私は、あなたが予想もしなかったような未来にいると思います。

だって、授業中は先生の話などろくに聞かないで、「『先生』って大変だよな～。ましてや全部の教科を教える小学校の先生なんて絶対無理」なんて思っていたのですから。

15歳のあなたは、友達関係でとても悩んでとてもつらいことと思います。

自分が嫌われたくない、いじめられたくない、そんな思いから友達の言うことに従うばかりで、自分の思っていることを言えないのはとてもつらいでしょう。

それで、どうして私だけがこんなに我慢しなくちゃいけないの？学校生活なんてつまんないと思っているでしょ。

自分のことが好きになれなくて、もっとはっきりものの言える人間になれたら…。○○ちゃんのようになれたら…。なんて思っているでしょ。

でも、9年後の未来にいる私から一言だけ言わせてください。

あなたのその葛藤は決して無駄ではないからね。

あなたが、15の時に悩んだことが今の私にとっては大きな強みなのです。

なぜなら、教師となった今、あなたと同じようなことで悩んでいる子どもの痛みをほんの少しだけ分かってあげられるから。

だから、15のあなたに私は感謝します。きっとあなたからみたら、もう大人のお姉さんになってしまう私だけ。

でも、悩みのない毎日を今の私が過ごしているわけではないよ。

むしろ、いろんな人と出会い、経験することも増えた分だけ、つらいな、疲れたなと思うことも多いです。

でも、「まだ大丈夫、もう少し頑張ってみよう」そう思えるのは、あなたと私がこの9年間で作ってきた道の途中で大切な人たちとの出会いと別れ、その人たちと過ごした日々があるからだと思います。

お互い、相手への感謝の気持ちを大切にしてくださいね。

24歳の私より。】